

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	独立行政法人国立美術館施設整備に必要な経費			担当部局庁	文化庁	作成責任者	
事業開始年度	平成13年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	企画調整課	企画調整課長 寺本恒昌	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人国立美術館法 第3条			関係する計画、通知等	文化芸術推進基本計画(平成30年3月6日閣議決定)		
主要政策・施策	観光立国、クールジャパン、知的財産			主要経費	その他の事項経費		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	美術(映画を含む。)に関する作品その他の資料を収集し、保管して公衆の観覧に供するとともに、これに関連する調査及び研究並びに教育及び普及の事業等を行うことにより、芸術その他の文化の向上に寄与するよう、独立行政法人国立美術館の施設・設備の老朽化への対応、美術館利用者の安全確保及び利便性の向上等のための施設整備を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	独立行政法人国立美術館が設置する美術館の狭隘・老朽化等への対応のための必要な施設整備の実施及び敷地の購入。(定額補助) 令和3年度に行った整備は以下のとおり。 (国立西洋美術館)総合改修その他工事 (国立新美術館)土地購入						
実施方法	補助						
予算額・執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求
	予算 の 状 況	当初予算	1,381	1,381	100	400	900
		補正予算	1,256	-	1,201.7	-	-
		前年度から繰越し	791	2,047	1,193	1,201.7	-
		翌年度へ繰越し	▲ 2,047	▲ 1,193	▲ 1,201.7	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-
		計	1,381	2,235	1,293	1,601.7	900
	執行額		1,381	2,069	1,279.6	-	-
	執行率 (%)		100%	93%	99%	-	-
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		52%	150%	98%	-	-
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由		
	独立行政法人国立美術館施設整備費補助金		400	900	土地購入費増のため		
	計		400	900			

活動内容 (アクティビティ)	独立行政法人国立美術館が設置する美術館の狭隘・老朽化等への対応のための必要な施設整備の実施及び敷地の購入を行う。									
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	独立行政法人国立美術館の施設・設備の老朽化への対応、利用者の安全確保及び利便性の向上等を目的とした施設整備を適切に行う。	施設整備の件数	活動実績	件	1	3	2	-	-	
			当初見込み	件	2	3	2	8	-	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	独立行政法人国立美術館施設整備に必要な経費であり、整備の規模がそれぞれ異なること、また複数年にわたって実施される整備もあることから、経年比較に渡って有意な単位当たりコストの算出は困難である。			単位当たりコスト	-	-	-	-	-	
				計算式	/	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 7年度	目標最終年度 -年度	
	独立行政法人通則法に基づく主務大臣による業務実績の評価のうち、施設・設備に関するものについて、すべての項目で標準評価以上の評価を受ける。	平成26年度以降は、文部科学大臣決定に基づく評価基準(大項目におけるB評価以上の割合) 中間目標の期間(令和3年度～令和7年度)	成果実績	%	100	100	100	-	-	
			目標値	%	100	100	100	100	-	
			達成度	%	100	100	100	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	独立行政法人国立美術館の令和3年度における業務の実績に関する評価(文部科学大臣)									
政策評価 関係 計	政策	12 文化芸術の振興								
	施策	12-4 文化芸術を推進するアートプラットフォームの形成	政策評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_12-4.pdf						
			該当箇所	施策目標12-4-1, 12-4-2						

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	当事業は美術館施設の改修工事を行うものであるが、国立美術館法等に規定された美術作品の収集や保管、公衆の観覧に供する業務を行うために必要であり、また美術品の適切な保存展示環境の整備及び国民サービスを充実させる観点からも必要な事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	当事業は独立行政法人通則法及び国立美術館法等に定められた、国民生活及び社会経済の安定等の公共上の見地から確実に実施されることが必要な事務及び事業であり、地方自治体、民間等に委ねることはできない。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	当事業は美術館施設の改修工事を行うものであるが、国立美術館法等に規定された美術作品の収集や保管、公衆の観覧に供する業務を行うために必要であり、政策の優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出先の選定は、一般競争入札を原則とし、選定の妥当性や競争性を確保している。一者応札となった場合は、契約監視委員会において、個々の契約の妥当性について、外部有識者による審議を行うなど透明性・競争性を確保している。相手方が所有者に限られる土地の購入等については、競争性のない随意契約となっている。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	本事業は、独法が国から指示された中期目標の達成に向けて策定した中期計画を実施するために、独法に対し交付するものであり、負担関係は妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	会計規程等に則った適切な手続きにより行っており、効率化や削減努力に努められている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	会計規程等に則った適切な手続きにより行っており、効率化や削減努力に努めており、合理的なものとなっている。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	国立美術館の施設整備に必要な事業のみ実施している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	繰越額が大きくなっている理由は、現状の図面には記載のない電線の敷設が判明し不測の日数を要することとなり年度内の完了が困難になったもの等であり、その理由は妥当なものとなっている。
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	可能な限り一般競争入札を実施し、合理的に支出が行われるように努めている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果目標に沿って着実に工事を実施しており、実績は目標に見合ったものとなっている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	本事業の実施にあたっては、最も適切かつ効果的に低コストで実施している。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見込みに沿って着実に工事を実施しており、実績は見込みに見合ったものとなっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	展覧会事業等の充実に活用されている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	契約に際しては、やむを得ないものを除き、一般競争により契約者を決定しており、支出先の選定の妥当性や競争性を確保するとともにコストの削減に努めている。	
	改善の方向性	観覧者や収蔵美術品の安全を確保するために、引き続き計画的に実施していく必要がある。また、真にやむを得ないものを除き、一般競争入札等による競争性を確保するとともに、入札にあたっては、入札参加条件等や仕様書の見直し、適正な公告期間の確保等により競争性、公平性、透明性を引き続き確保していく。	

外部有識者の所見

アウトプットについて、法人評価の結果のみであるが、施設の利用者数や利用者の満足度などを指標にできないか検討が必要。

行政事業レビュー推進チームの所見

の事業
善部内
改容

この事業は、外部有識者の指摘を踏まえ、成果指標の設定について工夫すべきである。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

改年
善度
討を
内
検の

施設整備においても来館者数や来館者満足度をアウトプット指標として設定できないか検討する。

備考

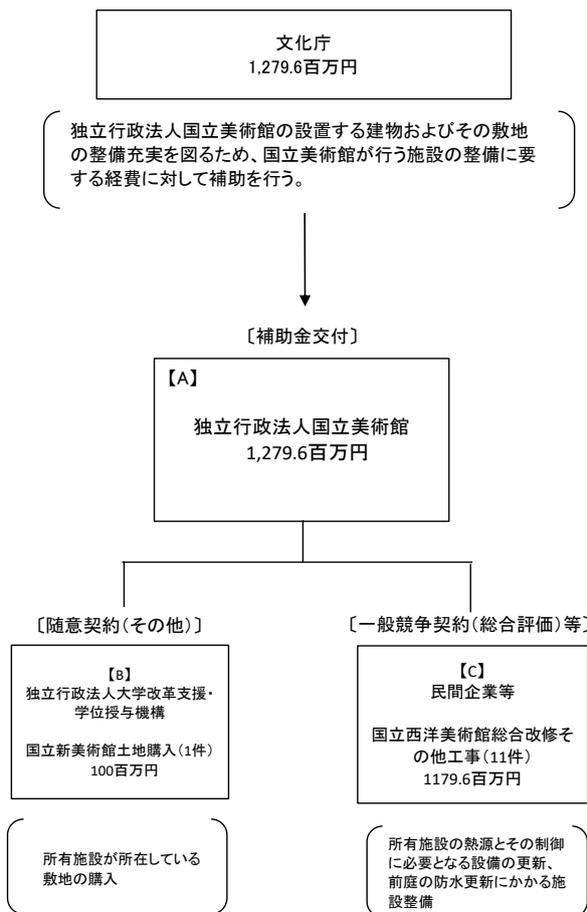
「公共調達の適正化について」(平成18年8月25日付財計第2017号)に基づき公表済みの場合を除き、同種の他の契約の予定価格を類推させるおそれがあるため、落札率は非公表

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	385			
平成24年度	408			
平成25年度	373			
平成26年度	367			
平成27年度	363			
平成28年度	343			
平成29年度	352			
平成30年度	355			
令和元年度	文部科学省 - 0390			
令和2年度	文部科学省 0391			
令和3年度	2021 文科 20 0416			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載)

A.独立行政法人国立美術館			B.独立行政法人大学改革支援・学位授与機構		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	土地購入費、所有施設整備費	1,279.6	土地購入費	所有施設が所在している敷地の購入費	100
計		1,279.6	計		100
C.ダイダシ株式会社			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	所有施設の整備費	590			
計		590	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	独立行政法人国立美術館	8010005005424	土地購入費、所有施設整備費	1,290.5	補助金等交付	-	--	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構	5012705001234	国立新美術館の土地購入	100	随意契約(その他)	-	--	

